

## 加古川中央市民病院医療廃棄物収集運搬処分業務委託仕様書

### 1. 目的

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」並びに関係法令に従い、地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川中央市民病院（以下「甲」という。）の排出する医療廃棄物（感染性・非感染性）収集運搬処分業務を、受託者（以下「乙」という。）が受託し、適正に処理することを目的とする。

### 2. 委託業務名

加古川中央市民病院 医療廃棄物収集運搬処分業務

### 3. 履行期間

2021年4月1日 から 2023年3月31日

### 4. 委託業務対象施設概要

- |          |                               |
|----------|-------------------------------|
| (1) 履行場所 | 加古川中央市民病院<br>兵庫県加古川市加古川町本町439 |
| (2) 構造   | 鉄筋コンクリート造（免震構造）               |
| (3) 規模   | 地上11階                         |
| (4) 敷地面積 | 約28,827.10㎡                   |
| (5) 延床面積 | 約49,062.17㎡（病院棟+講堂棟）          |

### 5. 業務内容

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」並びに関係法令を遵守して医療廃棄物の収集運搬及び処分を行う。

- (1) 甲から発生する感染性廃棄物等は関係法令等を遵守のうえ、適正に収集運搬する。
- (2) 甲から発生する感染性廃棄物等を許可された施設で適正に処分する。
- (3) 上記許可事項に変更があった場合は、乙は速やかにその旨を甲に通知するとともに、変更後の許可書の写しを提出する。
- (4) 感染性廃棄物の処理は、関係法令を遵守のうえ、適正に焼却（熔融）処理し、焼却（熔融）処分後の残渣物は、埋立て処分するものとする。
- (5) 非感染性廃棄物の処理についても、関係法令を遵守のうえ、適正に償却（熔融）処理し、償却（熔融）処理後の残渣物は、埋立て処分するものとする。
- (6) 作業を行う際は、病院の指示に従い、施設の破損や災害の防止に努める。

## 6. 廃棄物の種類及び数量

甲が乙に委託する医療廃棄物及び履行期間予定数量は以下のとおりである。

感染性廃棄物（特別管理産業廃棄物）

ポリ容器 20L 約 4,020箱／2年

ポリ容器 50L 約 14,940箱／2年

ポリ容器 70L 約 410箱／2年

ダンボール箱 50L 約160,890箱／2年

感染性廃棄物合計 8,900,600L

非感染性廃棄物（産業廃棄物）…各種包装袋・空ボトル・ゴム製品等

ビニール袋 90L 約 14,040袋／2年

非感染性廃棄物合計 1,263,600L

## 7. マニフェスト

(1) 甲、乙は上記6. の医療廃棄物の収集・運搬及び処分につき、医療廃棄物の種類・数量等を記載した産業廃棄物管理票（マニフェスト）による業務確認を行う。

(2) 甲は電子マニフェストによる管理を行っている為、受託者についても電子マニフェストに対応すること。

## 8. 廃棄物梱包容器等の提供

(1) 廃棄物梱包容器は業務委託料に含まれるものとし、必要量を提供する。

(2) それぞれの廃棄物梱包容器にはバイオハザードマークが表示されていることとする。ダンボール箱は厚手のナイロン袋付きで、バイオハザードマーク（橙色）を表示したもの、ポリ容器は完全密閉でき、バイオハザードマーク（黄色）を表示したものであること。

(3) 梱包容器の仕様は以下のとおりとする。

ア ポリ容器20L 中蓋付と中蓋無しの2種類。

寸法は、約300mm×300mm×300mm程度のものとする。

イ ポリ容器50L 寸法は、約300mm×400mm×500mm程度のものとする。

ウ ポリ容器70L 寸法は、約400mm×500mm×400mm程度のものとする。

エ ダンボール50L 寸法は、約300mm×420mm×420mm程度のものとする。

当院で使用している下記廃棄物容器ホルダーに適応するものとする。

“山崎産業 医療廃棄物容器ホルダー SK-F”

オ ビニール袋90L 寸法は、約425mm×1,100mm程度のものでマチ付とする。

※ア～ウについては、廃棄物容器専用スタンドについても乙が甲に貸与し、破損等により交換の必要があると甲が判断したときには、乙の負担におい

て速やかに交換すること。

## 9. 責任

乙は甲から委託された医療廃棄物を、受入れから処分の完了まで、法令に基づき適正に管理する責を負う。この間に発生した事故は、その責任が甲の責に帰すべき場合を除き、乙が責任を負うものとする。

## 10. 資格等

乙は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、甲にかかる処理に関するすべての許可を受けた業者でなければならない。

乙は甲が委託した医療廃棄物の処分について、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規定により、甲にかかる処理に関する全ての許可を受けた業者に行わせることができる。

### 11. 契約内容

- (1) 収集回数 収集回数及び、収集日は原則として毎週月曜日～土曜日の週6回とする。ただし、病院保管庫の状況により、臨時回収に適宜、応じること。
- (2) 契約方法 履行期間の予定回収数量に変動があり、不確定なため、単価契約とする。
- (3) 支払方法 月末締め翌月払い
- (4) その他 医療廃棄物収集運搬処分業務委託料については、収集運搬費、処理費、廃棄物の梱包容器及びスタンド貸与費用等を含んだものとする。（ポリ容器20L・50L・70L）

### 12. 業務遂行注意事項

業務遂行にあたっては、次のことに注意しなければならない。

- (1) 病院業務等に支障を及ぼさないこと。また、業務に支障のおそれがあるときは事前に甲へ連絡すること。
- (2) 作業にあたっては、服装、用具を整え、事故防止に努めること。
- (3) 目的に沿うよう計画を立て、確実に実施すること。
- (4) エネルギーの無駄をなくし、常に節約に努めること。
- (5) 異常を発見した場合、若しくは予測された場合は、直ちに報告し、甲の指示を受けること。
- (6) 乙は、甲の求めに応じ、必要な情報及び資料の提供を行わなければならない。

- (7) 敷地内では運搬車の空ぶかしは絶対に行わないこと。また、空ぶかしを行うような従事者を絶対に配置しないこと。
- (8) 敷地内では安全運転に努めること。

### 1 3. 負担区分

- (1) 業務に要する物品等は全て乙の負担とする。
- (2) 業務に係る諸経費は乙の負担とする。
- (3) 業務に要する工具類は乙の負担とする。
- (4) 上記以外については、甲と乙との協議により定める。

### 1 4. 受託者の責務

- (1) 乙は、病院内において知り得た情報を外部に漏らしてはならない。この事項は、乙がこの業務を解かれた後も持続するものとする。
- (2) 乙は、常に従事者の健康に注意し、伝染病の疾患に感染した者を業務に従事させてはならない。
- (3) 乙は、礼儀正しく品行に慎み、常に清潔にし、応接にあたっては懇切丁寧を旨とする。
- (4) 乙は、従事者に対して業務受託上必要とする教育訓練を実施し、業務の履行に支障を来さないよう万全を期さなければならない。
- (5) 病院内並びに病院敷地内は全面禁煙である為、従事者もこれに従うこと。
- (6) 乙は、甲との業務委託契約に対する賠償責任保険に加入しなければならない。

### 1 5. その他

この仕様書に定めのない事項及び疑義の生じた事項については、甲と乙が都度協議の上、決定するものとする。